平成24年度ものづくり立国の推進事業

（業界等が取り組む熟練技能者を活用した技能継承の支援・促進）

成果品ファイル

2013年3月

社団法人日本造園組合連合会

成果品一覧

１　技を生かす庭づくり塾の開催事業

・技を生かす庭づくり塾のテキスト『楽しく遊ぶ庭』ー表紙、内容の一部
・技を生かす庭づくり塾 庭づくり実演(東京会場)のリーフレットー表、裏

２　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国技能競技大会開催のポスター
・第2回全国技能競技大会開催のリーフレットー表、裏
・第2回全国技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』ー表紙、目次、内容の一部

1　技を生かす庭づくり塾の開催事業

・技を生かす庭づくり塾のテキスト『楽しく遊ぶ庭』ー表紙、内容の一部

・A4判タテ
・紙製

ものづくり立国の推進事業
技を生かす庭づくり塾

楽(しく)遊(ぶ)庭

多彩な庭の技法の基本と現代庭園への応用と提案方法を学ぶ

社団法人 日本造園組合連合会

庭園のコンセプト

楽(しく)遊(ぶ)庭

多彩な庭の技法と現代庭園への応用と提案手法を学ぶ

課題の庭園は、多彩な庭園技法が学べるように設計しました。
石積み（２種類）、石組み、竹垣、つくばい、敷石、園路、植栽、花の植栽、アクセサリーとなる竹篭・竹で作る明かり、など伝統の技法を生かしつつ、現代庭園での応用に活かせる工夫なども学べるようにしました。

課題の敷地は６×４メートル。24 ㎡です。この庭園はアプローチガーデンとしての機能と中庭としての機能も持っています。周囲からの景観と、歩くことにより変化する景観の両面を考え、特に１本１本の植栽にも十分留意して施工しましょう。

四季の変化を楽しむ　落葉樹、下草のカラーリーフ、草花、宿根草の植栽により、季節の移り変わりが楽しめる庭。立春、春分、立夏、大暑、立秋、秋分、白露、立冬と日本の四季の変化、特に光や風の変化を感じることができます。

庭のある暮らしを楽しむ　来客、仲間同士のパーティなどのときに庭空間をおもてなしの心で花鉢に季節の盛り花、季節のコケ玉などを飾れます。季節のお祭りやイベントにあわせ例えば、母の日には花鉢にカーネーションを飾っては。

遊びごころ　石のレリーフに子供の好きなキャラクターや子供の足形などを刻み、園路の中に据え付ける。子供のころ遊んだビー玉・おはじきなどで模様をつけるのも楽しい遊びの提案です。記念樹や記念の花や草を植えつける提案もお客様に庭に親しみを持ってもらえます。

技(手)を加えてグレードアップ　ホームセンターなどでも入手可能な材料に加工、技を加えることにより、上質な庭を提案できます。

和モダンの雰囲気　入り口の園路や小舞垣は和風モダンな雰囲気をかもし出すデザインです。

リ・ガーデン素材　リ・ガーデンも多くなっていますので、先代からの仕立物の樹木の生かし方も提案します。

この庭を見てくださるお客様へ「お庭のコンセプト」

春の芽吹き、彩を競う花々、萌える新緑、清冽な水、秋の燃える紅葉、冬の雪景色、この小さな庭には光と風が織り成す季節の移ろいがあります。
日々の生活の営みの中で、ほっと安らげる小さな自然『庭』、季節のうつろいを感じる小さな自然『庭』のある暮らしを始めませんか。
日本庭園の伝統の技にモダンな感性を取り入れて、花や草やそしてそこに住む生き物たちに触れ合う季節を感じる庭を作ってみました。
小さな庭ですが、楽しく庭遊びしましょう。

2

1　技を生かす庭づくり塾の開催事業

・技を生かす庭づくり塾のテキスト『楽しく遊ぶ庭』－内容の一部

・A4判タテ
・紙製

第１章　施工要領とポイント

１－１　石積み・石組み・つくばい

石積み

入口から右手の石積みは野面積みとして、小舞垣の下は、小端積みとします。

右側の野面積みは、出口は門柱ともなりますので、角をきちんと積み、つくばいの正面で高さ 600 をピークとして、徐々に下げていきます。

つくばいのあたりから、石積みは草の雰囲気で仕上げましょう。

（１）野面積み

①石の選別　　・角石、天端石、根石、胴石の順に選ぶ。

■野面積み
（小端積みも同様）

角石	三方又は四方 90° である事	天端石	天面と前面が 90° である事
根石	後方のひかえが長く、中心(石)が水平である事	胴石（築石）	上部の積石に安定できる石

②施工

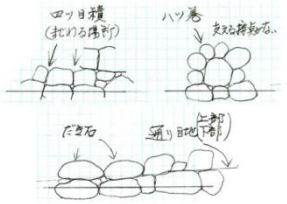
・野面積みは１個の石を２点で支えることが基本。石の中心線が水平になるように積むのが安定感のある石積みとなる。

・大中小の石の組み合わせが大切。

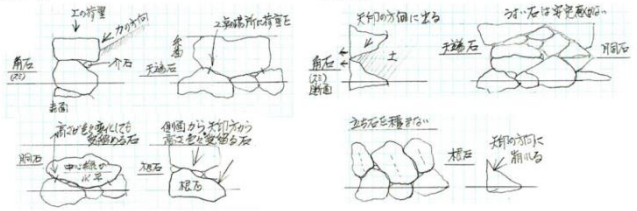
・石の面を揃えること、天端の水平ラインをきれいに出す。

・角の根石→根石→胴石→天端石の順で積み上げていきます。

■石積みの約束事



■良い例　　■悪い例



（２）小端積み

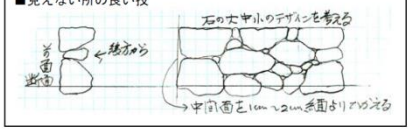
①石の選別

野面積みと同様に角石，根石には安定感のある石を使います。

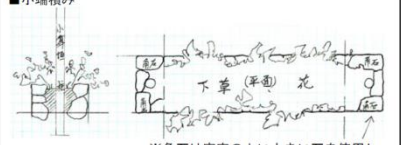
②施工

水糸を張り、横目地は水平に、立目地が通らないように、大中小の石のバランスを良く考えて施工します。

■見えない所の良い技



■小端積み



※角石は安定のよい大きい石を使用し、安定感、重量感を出す。

石組み

根が切れないように、自然風に山天で据え付けます。

つくばい

おりつくばい形式で据え付けます。排水は自然排水とし、有孔管を地中に埋めておきます。

１－２　樹木植栽

落葉樹、下草のカラーリーフ、草花、宿根草の植栽により、季節の移り変わりが楽しめるのがこの庭園のコンセプトであり、樹木は四季に変化する落葉樹を中心に選んでいます。

植栽に当たっては、この庭園がアプローチガーデンと中庭としての機能も持っているため、四方からの景観と歩くことにより景観が変化することの両面を考慮して施工しましょう。その際には、幹の姿が重要になります。

また、古い庭のリ・ガーデンの依頼も多くなっています。マツなどの仕立て樹木は敬遠されがちですが、この庭の中でその個性を発揮できるよう植栽します。

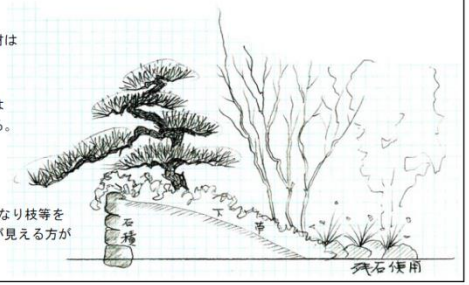
■樹木植栽

・厳しい自然界で育った素材は味がある。

・長い歴史に良さの有る庭は見えない所に技（味）がある。

■手入れ

・枯枝、胴吹枝、ひこばえ、重なり枝等を鋏または手で。樹形の線が見える方が庭に深みが出る。



1　技を生かす庭づくり塾の開催事業

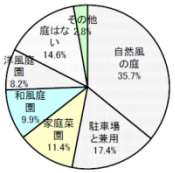
・技を生かす庭づくり塾のテキスト『楽しく遊ぶ庭』－内容の一部

・A4判タテ
・紙製

第３章　市民アンケート結果

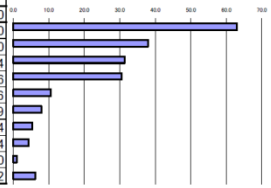
（Ｑ１）お住まいの庭は、どのような庭ですか。

		実数	%
	全体	563	100.0
1	自然風の庭	201	35.7
2	駐車場と兼用	98	17.4
3	家庭菜園	64	11.4
4	和風庭園	56	9.9
5	洋風庭園	46	8.2
6	庭はない	82	14.6
7	その他	16	2.8



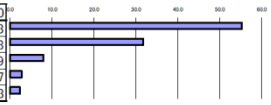
（Ｑ２）庭で、どのように楽しんでいますか。３つ以内でお選びください。

		実数	%
	全体	481	100.0
1	草花を育てる	303	63.0
2	果樹や野菜を育てる	183	38.0
3	眺めて楽しむ	151	31.4
4	庭木の手入れ	147	30.6
5	庭に出てのんびり過ごす	51	10.6
6	ペットと遊ぶ	38	7.9
7	友人や家族との交流	26	5.4
8	野鳥や昆虫とふれあう	21	4.4
9	ゴルフの練習	5	1.0
10	その他	30	6.2



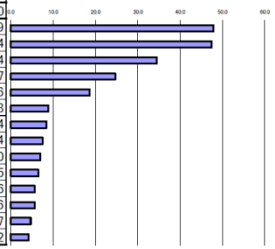
（Ｑ３）将来、庭の改造（リ･ガーデン）を考えていますか。

		実数	%
	全体	481	100.0
1	今のところまったく考えていない	266	55.3
2	時期は未定だが将来的に行いたい	153	31.8
3	検討中	38	7.9
4	既に改造済み	13	2.7
5	現在実施中	11	2.3



（Ｑ４）どのような庭に変えたいですか（変えましたか）。３つ以内でお選びください。

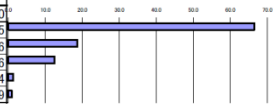
		実数	%
	全体	215	100.0
1	自分で手入れができる庭	103	47.9
2	維持管理の手間が少ない庭	102	47.4
3	果実･野菜など収穫ができる庭	74	34.4
4	花の庭	53	24.7
5	ウッドデッキをつくる	40	18.6
6	ペットと遊べる庭	19	8.8
7	洋風庭園	18	8.4
8	遊び場がある庭	16	7.4
9	ライトアップの庭	15	7.0
10	駐車場をつくる	14	6.5
11	和風庭園	12	5.6
12	池と流れのある庭	12	5.6
13	バリアフリーの庭	10	4.7
14	その他	9	4.2



17

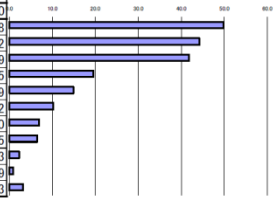
（Ｑ５）庭をつくるなら、予算はどれくらいですか。

		実数	%
	全体	215	100.0
1	30万円以下	143	66.5
2	31万～50万円	40	18.6
3	51万～100万円	27	12.6
4	101万～200万円	3	1.4
5	201万円以上	2	0.9



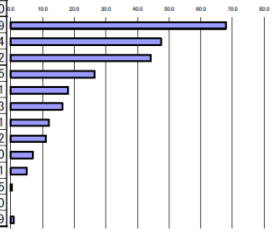
（Ｑ６）庭の業者を探す手段は、何ですか。３つ以内でお選びください。

		実数	%
	全体	215	100.0
1	インターネット	107	49.8
2	園芸店やホームセンター	95	44.2
3	友人、知人の紹介	90	41.9
4	ハウスメーカーや工務店の紹介	42	19.5
5	広告チラシ	32	14.9
6	テレビや雑誌	22	10.2
7	ガーデンショー等の展示会	15	7.0
8	電話帳	14	6.5
9	役所で聞いて	5	2.3
10	看板	2	0.9
11	その他	7	3.3



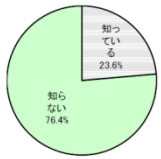
（Ｑ７）庭の業者を選ぶ基準は何ですか。３つ以内でお選びください。

		実数	%
	全体	215	100.0
1	価格が手頃	146	67.9
2	確かな技術	102	47.4
3	良い提案をしてくれる	95	44.2
4	実績が豊富	57	26.5
5	感じの良さ	39	18.1
6	見積りが分かりやすい	35	16.3
7	説明が分かりやすい	26	12.1
8	友人･知人の紹介	24	11.2
9	造園技能士資格を持っている	15	7.0
10	家の近所	11	5.1
11	雑誌等で有名	1	0.5
12	規模が大きい	0	0.0
13	その他	2	0.9



（Ｑ８）国家資格「造園技能士」をご存知ですか。

		実数	%
	全体	563	100.0
1	知っている	133	23.6
2	知らない	430	76.4



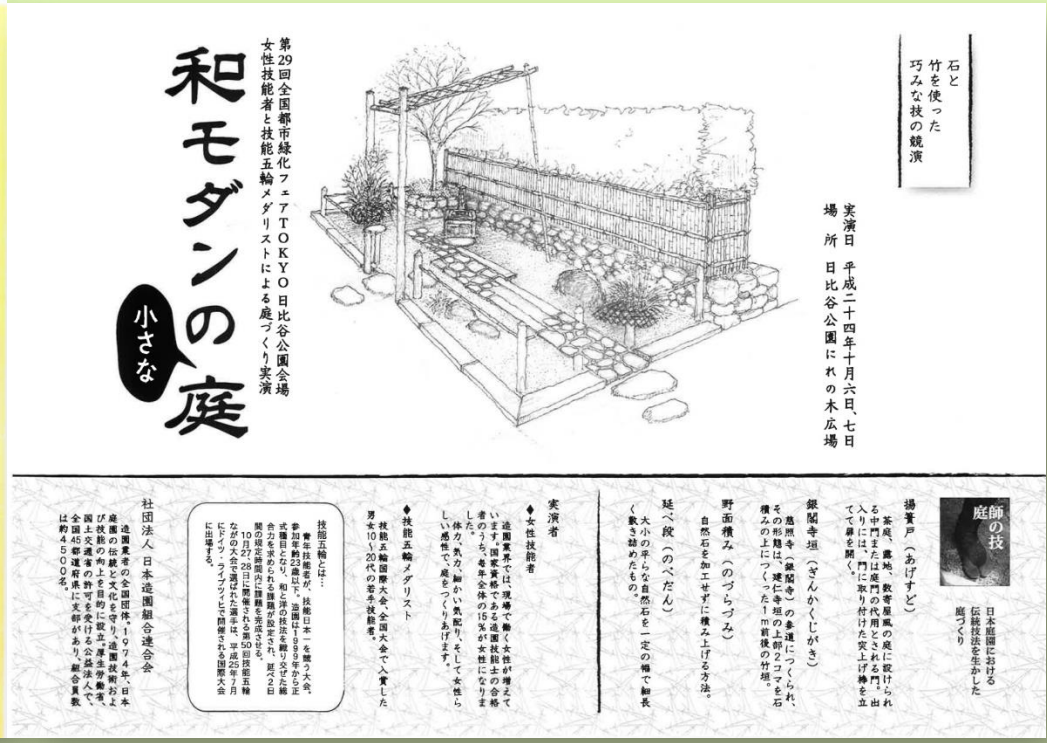
18

1　技を生かす庭づくり塾の開催事業

・技を生かす庭づくり塾　庭づくり実演(東京会場)のリーフレット－表、裏

・A4判ヨコ
・紙製

表



裏

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園競技大会開催のポスター

・A2判タテ
・紙製

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技開催大会のリーフレット一表

・A4判ヨコ
・紙製

開催趣旨

大会の企画は、平成 11 年技能五輪の造園競技が始まった際に「年齢制限がなければ俺も出てみたい」という声から、シニアの競技大会ができないかと考えたのが発端です。

材料と時間の制限の中で競技をし、チームの技術技能とデザイン力を競うものであり、技能五輪大会の上級大会といえます。造園の技術の多彩さ、材料だけでは分からない技能の深さに気付いてもらえるきっかけとなればと考え、平成23年３月に第１回大会を山口県で開催しました。

第２回となる今回も多彩な作品の誕生が期待できることでしょう。

見どころ　自然材料の個性を活かす
技能力と地方色

大会日程

平成 24 年 10 月	25 日〈木〉	14：00 ～ 17：00	会場・材料下見，説明
	26 日〈金〉	8：30 ～ 16：30	競技
	27 日〈土〉	8：30 ～ 13：30	競技
		19：00 ～ 21：00	表彰式，交流会（於：茅野市・ビジネス旅館わかみず）

審査基準

審査員５名と専門審査員５名により行われる。
審査委員長は戸田 芳樹氏（㈱戸田芳樹風景計画，東京農業大学客員教授）

〔賞〕 金賞・銀賞・銅賞　各１チームにメダルと賞状の授与、特別賞（若干数）
金賞受賞チームには厚生労働省職業能力開発局長賞が贈られる。

専門審査
- 作業態度（現場が清潔であるか，安全な作業，作業態度）
- 基本の遵守（土木・石工事・植栽技能の基本，仕上げ・整地）
- 創造性，総体的な景観

上級審査
- テーマが的確に表現されているか
- 施設（植栽以外）の造園技術・デザイン，植栽技術・デザイン，
- 材料の活かし方，創造性，総体的な景観

お問い合せ先

社団法人 日本造園組合連合会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-3-2 マツシタビル７階
電話／ 03 (3293) 7577　FAX ／ 03 (3293) 7579
URL ／ http://www.jflc.or.jp　Mail ／ info@jflc.or.jp

社団法人 日本造園組合連合会 長野県支部
〒386-0027 長野県上田市常磐城 4-4-23 YJM ビル２階
電話／ 0268 (28) 5077　FAX ／ 0268 (28) 5078

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技開催大会のリーフレット－裏

・A4判ヨコ
・紙製

第2回
全国造園
技能競技大会
技の数だけ
庭がある

北アルプスの恩恵
〔富山県〕Green-orchestra TOYAMA（グリーンオーケストラ富山）
野開吉彦／野開造園土木㈱，今井浩司／今井雅石園植木㈱

ここ長野県と私たちの富山県は、北アルプス山脈から大自然の恵みを受けています。
空気の澄んだ自然豊かな大地、清流が流れ込む広大な海。
大自然に感謝を込めて、北アルプスの恩恵を表現しました。

希望の大地
〔宮城県〕伊達な粋～みちのくからの刺客～
菱沼 敦／㈲繁樹園，相原雅敏／御堂平造園

失われたあの美しい東北の海沿いの故郷に思いを馳せ表現したいと思いました。鉄平石張はリアス式海岸の海岸線と仙台平野を、穏やかな海の水面を芝生で表し、伊勢ゴロタで波しぶきを。さらに、防波堤には蛇籠を組み、防潮堤に小端積みを用い、自然あふれる山並みを石組みと植栽にて表現しました。そして、そこに住まう我々の希望や力強さの象徴として太陽の光をイメージした竹垣を創造しました。
自然を嫌いにならないで欲しい、こんなにも素晴らしく癒されるものだし、共生して行く事が大切なのだと伝われば嬉しいです。

御神渡り伝説
〔長野県〕信州すわっこ 41
後町和宏／杉菜園，濱　賢／はまけん造園

古来より伝説に「諏訪の御神渡り（おみわたり）」があります。諏訪湖が全面結氷し、寒気が数日続くと氷が厚くなり、轟音と共に氷が裂けて盛り上がる現象です。諏訪大社上社に住んでいた二柱の神様が、あるとき夫婦喧嘩をして、奥さんが下社へと出て行ってしまいます。極寒の夜、寂しくなった上社の男神が下社へ通った道筋と言われ、諏訪の七不思議のひとつにも挙げられています。この伝説をモチーフに設計しました。
諏訪の神様を見習って、世のお父さんも足しげく、奥さんのところへ通うべきでしょう。

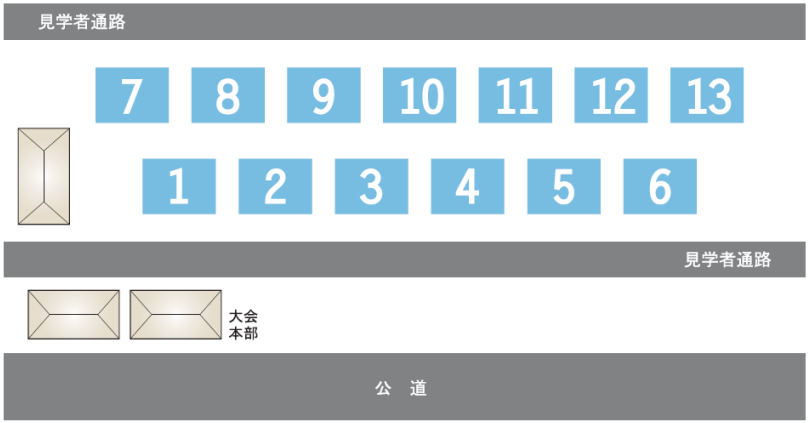
小さなプライベートガーデン
〔東京都〕チーム ヒゲ
木下和久／GREEN ART，龍崎浩二／庭作

お客様より家族でくつろげる庭がほしい言われ、庭から家をながめられる空間と考えました。パーゴラ内の石のイスに座り、タバコを吸ったり、芝生では子供が遊べ、炉では落葉たきをしたりと、小さい庭ながら心ちよいプライベートな庭を作ってみました。

龍のいる島
〔山梨県〕風林火山
角野 勝／㈱明桃園，守屋智康／さわやか造園

龍は、中国神話の生物で古来神秘的な存在として位置づけられてきました。
秋になると淵の中に潜み、春には天に昇るとも言われています。
また、今年は辰年でもあるので島から龍が覗いている様子を表現しました。

▼会場配置図



しまなみのそよ風
〔広島県〕西風紅葉（セイフウモミジ）
藤井幸介／風林造園，伊藤竜太／㈱西条庭園

瀬戸内の風土は穏やかでしまなみも、山なみもなだらかな風景がどこまでも続きます。仕事帰りに、車を止めてしばらく海を眺めていると、心も穏やかな気分になります。しまなみ海道に架かる橋も今ではすっかり瀬戸内の風景の代表になりました。
遠くに見えるしまなみを竹垣で、島に架かる橋をレンガと鉄平石コバのアーチで表しました。

いつも故郷（こころ）に山口郷
〔山口県〕美香子’s
吹上笑美／㈱多々良造園，上利春香／㈱高山造庭園

進学・就職・結婚と地元を離れた友達を想い、考え出した「山口郷」。
地元にたくさんある山々を竹のモニュメントで表現し、秘境の入り口である錦帯橋のアーチをイメージした石橋を渡ると湯田温泉を感じる足場へと続く… いつもいつまでも故郷はともにあることを伝えたい！！　…そんな庭です。

連山の眺め
〔京都府〕京都府造園協同組合 青年部
前田大介／㈱京都造園，大平一貴／㈱大平造園

市松と直線的に囲まれた乱張り
そこには、人々の営み、気配が存在する
そこから見る連山の眺め
山々が幾重にも重なっていて
陰影がつくりだす
山の険しさ、優しさ、そして自然の気配…
それは遠い昔より変わらない
山の美しさ、雄大さがそこにある

風と水
〔山口県〕チーム 下関
殿井悌一／㈱日新造園，濱田陽介／㈲浜田造園

この作品は諏訪のイメージを基に植栽・竹垣・景石でアルプスを、石張り・砂利で湖を表し、コバの鉄平石で御神渡りを表し、風と水とが作り出す、神様の足跡と、悠久の時を感じる諏訪の風景を表現しています。

カナダの想い出
〔福岡県〕九州男児
山本辰雄／小嶺造園，白石勇人／㈲若松緑地建設

私たちは、カナダでの技能五輪国際大会にコーチ、選手として出場しました。その時カナダで見た風景をこの庭に再現してみました。
まず、小端積みと竹を使ってカナダの切り立った山々を、砂利敷きでその山すそを流れる川を表現しました。石張は山から少し離れた所にある町並みをイメージしています。カナダでの貴重な経験を思い出とし、この庭を作庭します。

もうひとつの天竜川
〔長野県〕竹上興業
竹村幸司／ランドフィット，上野則秋／フィールドアップ

雄大に向かい合うふたつのアルプスに抱かれるように流れる天竜川。
諏訪湖を源とし、穏やかに伊那谷を測しながら遠州灘へと向かう。しかし、ひとたび荒れると尾根からの雨を集め、「暴れ天竜」へと変わる。
そんな対照的な川の表情をイメージしました。

縁（めおと）（夫婦臥竜垣）
〔香川県〕284kun+G
今田康正，ベッツォルド ジョン／今田作庭園

西洋の直線に対して日本の曲線の美を、今までのセットメニュー講習会で習った技で考えました。
～山の沢で鯉が登っていき竜になっていく～
この世の中に、ご縁あって出会った・出会う人々が、益々幸せを乗せて羽ばたいて行けるように、心情景を表現しております。
夫婦仲良く、いつまでも…

八ヶ岳への道
〔東京都〕若造
秋山住弘，野津手靖久／秋山造園㈲

久しぶりの休日、ドライブで休憩しようと車を降りて小道に入ってみると険しくごつごつした道、でも見上げると雄大な八ヶ岳が広がり、道脇には草花や山野草が咲き湧水が流れている。
忙しい日常で忘れてしまう風景、旅でこそ出会える風景を表現しました。

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』ー表紙

・A4判ヨコ
・紙製

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』ー目次

・A4判ヨコ
・紙製

発行にあたって

造園連は、平成 24 年度厚生労働省ものづくり立国の推進事業（業界等が取り組む熟練技能者を活用した技能継承の支援・促進）を企画競争により受託し、事業のひとつとして「第２回全国造園技能競技大会」を開催しました。

技能者それぞれの知識と経験を駆使して、造園の技とデザイン力を競うこの大会は、同じ支給材料を使いながらも、まったく異なる個性的な作品が出来上がり、見る者を強烈に惹きつける多彩な魅力に満ちています。そこで、これら大会の模様や、技術的なみどころ等を記録してまとめた報告書を作成いたしました。できるだけ多くの皆様にご覧いただき、造園技能の研鑽、向上にお役立ていただくことを心より願っております。

平成 25 年３月
社団法人　日本造園組合連合会
理事長　白井　昇

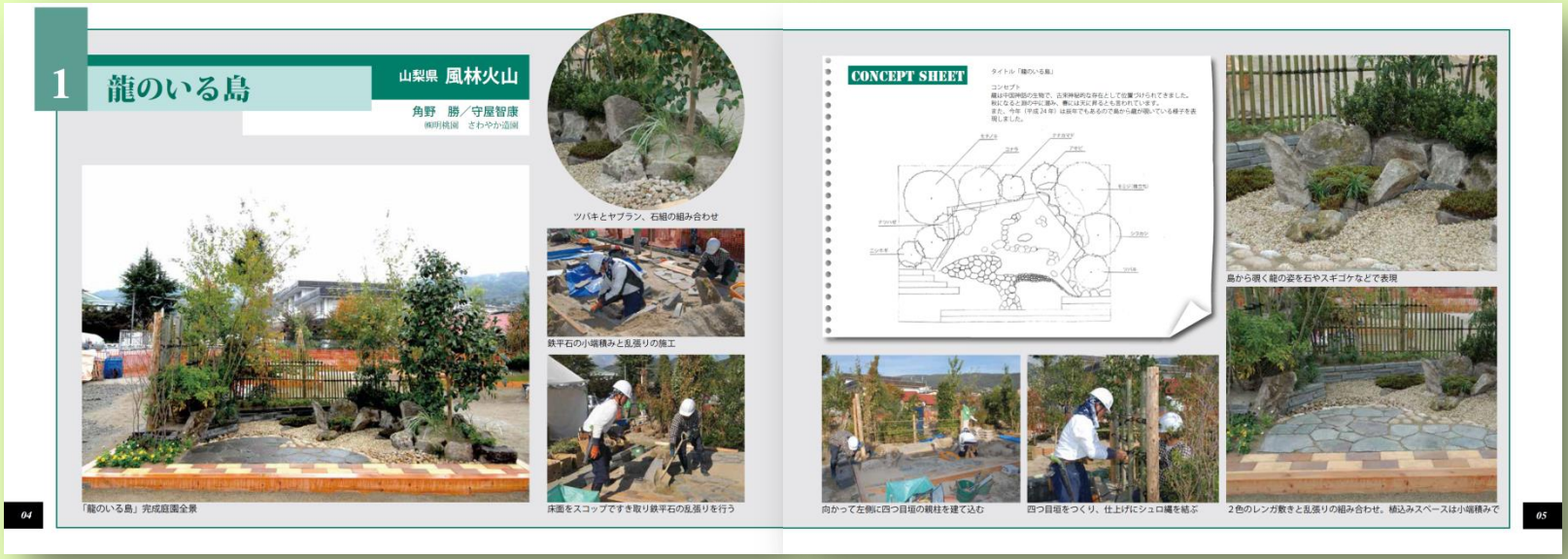
CONTENTS

第２回全国造園技能競技大会概要…… 03
作品紹介…… 04
①山梨県　風林火山「龍のいる島」…… 04
②山口県　美香子 's「いつも故郷に山口郷」…… 06
③山口県　チーム 下関「風と水」…… 08
④福岡県　九州男児「カナダの想い出」…… 10
⑤長野県　竹上興業「もうひとつの天竜川」…… 12
⑥香川県　２８４kun＋G「縁（夫婦臥竜垣）」…… 14
⑦富山県　Green-orchestra TOYAMA「北アルプスの恩恵」…… 16
⑧宮城県　伊達な粋　～みちのくからの刺客～「希望の大地」…… 18
⑨長野県　信州すわっこ 41「御神渡り伝説」…… 20
⑩東京都　チーム ヒゲ「小さなプライベートガーデン」…… 22
⑪広島県　西風紅葉 (セイフウモミジ)「しまなみのそよ風」…… 24
⑫京都府　京都府造園協同組合 青年部「連山の眺め」…… 26
⑬東京都　若造「八ヶ岳への道」…… 28
審査員の眼・作品講評①…… 30
熟練技能者の眼・作品講評②…… 34
競技大会に参加して・出場者の感想…… 40
第２回全国造園技能競技大会・支給材料、関係者一覧…… 44
第１回造園技能競技大会　概要…… 45
第１回造園技能競技大会　作品紹介…… 46

2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』－内容の一部

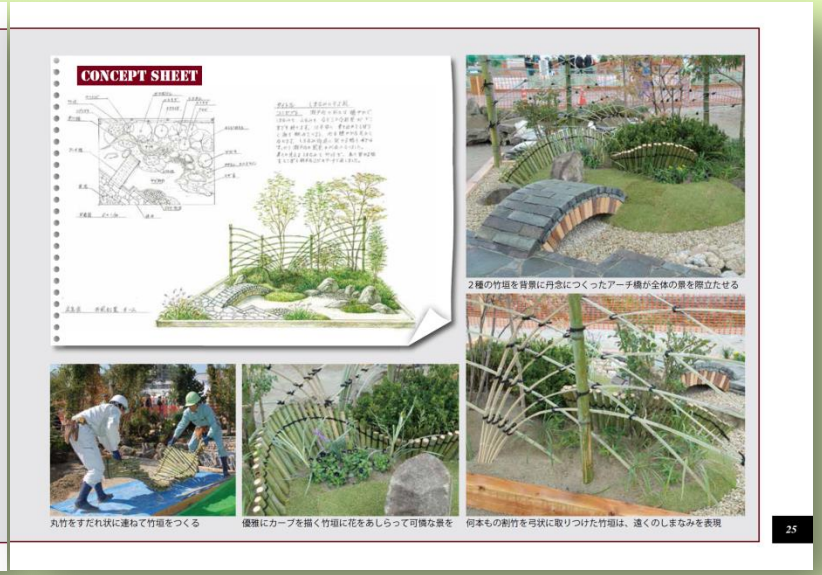
・A4判ヨコ
・紙製



2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

・第2回全国造園技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』－内容の一部

・A4判ヨコ
・紙製



2　第2回全国造園技能競技大会の開催事業

第2回全国造園技能競技大会の報告書『技の数だけ庭がある』－内容の一部

・A4判ヨコ
・紙製

熟練技能者の眼　第２回全国造園技能競技大会講評❷

競技大会終了後、競技大会運営に携わった熟練技能者６名に、完成した作品の優れた造園技法等について、専門家の視点から座談会形式で意見交換していただき、以下に項目ごとにまとめた。

1．全体の構成および石作業について

⑪〔広島〕西風紅葉「しまなみのそよ風」（写真１－１）
◆橋は、石の自重と全体のバランスで支え合う構造になっている。今回の施工では、まず砂でアーチ状の仮の土台をつくり、その上にレンガで橋を組み、上面に小端鉄平石を敷き、最後に土台の砂を取り除いて橋を完成させていた。
◆実際に人が乗っても大丈夫な強度になっている。
◆バランスが非常に難しく、レンガとレンガがずれてしまうと橋が崩れてしまう。モルタルを使わずにこの橋をつくることが出来たのが素晴らしい。
◆日本では江戸時代くらいから用いられている技術で、昔の城壁のアーチや水道橋等に使われている。
◆テラス部分は、丸張りだけでなく、小端鉄平石で縁どりされており、縁どりのラインがあることで空間に奥行きを出している。さらに縁どり部分は、２段の段差になっているなど細部への配慮がなされている。
◆支給材料でありながら、景石の形や表情なども、ほぼ図面のとおりに出来上がっていて驚かされる。パース図も非常に上手い。

②〔山口〕美香子’ｓ「いつも故郷に山口郷」（写真１－２）
◆錦帯橋をイメージした石橋が印象的。庭全体の構成として、足湯と石橋と竹の山々の、大きさと配置のバランスを工夫すれば、もっとよくなると思う。発想が素晴らしい。
◆橋の石張り部分を、小口積みの階段にしてみたら面白いかも、という声もあった。

⑫〔京都〕京都府造園協同組合 青年部「連山の眺め」（写真１－３）
◆人の営み暮らしが感じられ、コンセプトがよく表現されている。
◆市松模様が洗練されていてよい。
◆審査員長より、全体の構成から見ると、山のボリュームが不足している旨のコメントがあった。支給される材料の量も作業時間も決まっているため難しい部分はあるが、事前に提出されたコンセプトシートのように、山の麓の土の部分や、連山と人里とのつなぎ部分も図面の雰囲気で施工できれば、さらによい仕上がりになったと思う。

■写真１－１
■写真１－２
■写真１－３

34

⑤〔長野〕竹上興業「もうひとつの天竜川」（写真１－４）
◆ディスプレイガーデンとして優れている。
◆競技大会の今後の運営に一石投じた作品となった。本人たちも一か八かということを承知でつくったらしいが、思い切って変わったものをやろうするのが主流になると大会の趣旨にも影響がでてくるだろう。本作品はコンセプトに基づいた景がしっかりと表現されている点が評価につながった。

①〔山梨〕風林火山「龍のいる島」（写真１－５）
◆レンガに変化がないので、直線的ではなく、なかのほうまでレンガを入れたり、鉄平石を入れてみて、配置やバランスを工夫すればよりよくなる。
◆水のなかから、龍が出てきそうな感じが上手く表現されている。植栽は深みのあるものになったと思う。

⑨〔長野〕信州すわっこ４１「御神渡り伝説」（写真１－６）
◆石組による湖と氷の盛り上がりの表現が素晴らしい。

④〔福岡〕九州男児「カナダの想い出」（写真１－７）
◆石組の表現が素晴らしい。石が地面から生えてきたようにも感じられ、とても自然に、優しく見せる工夫さがある。
◆鉄平石の間にレンガをコマ出しで入れた小端積みがよい

③〔山口〕チーム 下関「風と水」（写真１－８）
◆鉄平石と砂利の部分で湖と御神渡りを表現していて、湖の上を吹いている風のような御神渡りになっている

⑥〔宮城〕伊達な粋 ～みちのくからの刺客～「希望の大地」（写真１－９）
◆作庭チームが意図している庭園コンセプトとは異なってしまうが、実体スケールのリガーデンの視点で見ると、心やすらぐ空間として、石組、小端積み花壇、鉄平石のテラスなど、庭の構成要素はよいものがたくさん見受けられる。庭自体は㊗チーム・ヒゲと似たような方向性を持っていると思う

⑥〔香川〕284kun+G「縁（夫婦臥竜垣）」（写真１－10）
◆鉄平石を縦使いにして、滝の落水を表現しているのがよい。
◆アイディアはとても面白いが、構図を見るといろいろなものを詰め込み、欲張りすぎた印象がある。

■写真１－４
■写真１－５
■写真１－６
■写真１－７
■写真１－８
■写真１－９
■写真１－10

35

⑦〔富山〕グリーンオーケストラ富山「北アルプスの恵恵」
◆石組はよいし、仕上げも綺麗なのだが、何かインパクトに欠ける部分がある。
◆構図がとてもよい。植栽、石組、竹のアーチから続いてくる気勢が、最後にレンガのところでうまく表現できていれば、さらによい感じになった（写真１－11）。
◆石に飛び出してきそうな動きと迫力がある（写真１－12）。
◆石組のなかに、少しでいいので地被類や花を植えるか、小さな木を植えると、植栽部分との繋がりができてよい。

⑩〔東京〕チーム ヒゲ「小さなプライベートガーデン」（写真１－13，14）
◆五感の癒しを感じる。
◆普通の家庭の庭でも通用できるデザインで、今の時代に相応しい庭と言える。
◆山砂を水と混ぜ合わせてモルタルのように使用していて、砂が崩れないようにつくり上げている。

⑬〔東京〕若造「八ヶ岳への道」（写真１－15）
◆手前に里山をイメージした景色をつくればもっとよくなる。

2．竹作業について

参加チーム全体について
◆全体的にそれぞれ扱いが上手である。
◆竹を割ったもの、割って編んだものが多い。⑭〔京都〕京都府造園協同組合 青年部「連山の眺め」（写真２－１）はオーソドックスだが、他は大胆に竹を駆使している。

⑪〔東京〕若造「八ヶ岳への道」（写真２－２）
◆八ヶ岳を表現にするには竹の量が少なかった。
◆峰を表現できるとよい。本体を先につくってから、竹を差し込んで峰をつくっていく方法もある。

③〔山口〕チーム 下関「風と水」（写真２－３）
◆竹垣の仕事が手馴れていて上手い。時間の制約もあるため難しいかもしれないが、笠木のところをもう少し編み込めば、もっと素晴らしいものがつくれたと思う。
◆竹垣でアルプスを表現するコンセプトだが、龍のようにも見えるし、風のようにも見えて面白い。

■写真１－11
■写真１－12
■写真１－13
■写真１－14
■写真１－15
■写真２－１
■写真２－２
■写真２－３

36

②〔山口〕美香子’ｓ「いつも故郷に山口郷」（写真２－４，５）
◆竹垣が第１回競技大会に出場した石丸さんの竹垣のようでよいデザインである。
◆技を活かす庭づくり塾で学んだ、竹を編んでつくる花籠を実践している。学んだものの取り込みが早く、しっかり活かしている。

3．植栽（樹木及び下草・草花）について

参加チーム全体について
◆全体的に植栽・剪定への気配りが足りない感じがする。
◆枝がしおれていたり、枯れていたりしているところに注意を払い、最終的に樹形のよさを活かすように修正する。時間的にそういうところに目を向ける余裕がなかったのだろう。配点ポイントを変えると選手の意識も変わるかもしれない。
◆長い目で樹木を育てるという視点で剪定をしなくてはいけない。また、その場その場で、ちょっと枝先を切るのではなく、その場に順応した遊びしていくための剪定が大事だ。
◆剪定でありがちだが、若い木でも老木でも同じような剪定をしていてはいけない。また、勢いのある木と弱っている木でも同様である。
◆サツキなどを雑木みたいに透かして植栽するのも面白い。

⑧〔宮城〕伊達な粋 ～みちのくからの刺客～「希望の大地」（写真３－１）
◆樹木を意図的に傾けているが、幹が外に向いてしまっているため、全体のバランスから見ると無理に傾けている印象を受けてしまう。樹木を回してみて、より自然な傾きを見つけたほうがよい。
◆幹を活かす植栽と剪定を工夫すればよくなる。

②〔山口〕美香子’ｓ「いつも故郷に山口郷」
◆木の使い方がよい。

⑥〔香川〕284kun+G「縁（夫婦臥竜垣）」（写真３－２）
◆手前のモミジの傾きが残念。剪定して樹形を整えるとよい。

①〔山梨〕風林火山「龍のいる島」（写真３－３）
◆左右の植栽の間に空間をつくったことが功を奏している。上手く植栽が分かれているのがよい。
◆花植栽は工夫が必要。

■写真２－４
■写真２－５
■写真３－１
■写真３－２
■写真３－３

37